



生まれてくれてありがとう。

「切れ目ない子育て支援」を目指して

日野町版ネウボラ『育児パッケージ』

町では、妊娠期から子育て期にわたり、総合的な相談をはじめ各種の支援サービスを行い、家族が安心して子育てできるまちを目指しています。平成28年4月には、子育て世代包括支援センター（日野町版ネウボラ）を開設。出産や子育てが「楽しい」と思えるための支援として、赤ちゃんが生まれた家庭に「育児パッケージ」を送り、出産をお祝いする取り組みを行っています。

育児パッケージには、産後すぐに必要な肌着やタオルケットに加え、授乳クッション、食器セット、木のおもちゃ、おむつセットなどから1〜2点を選択したものが詰められ贈られます。

12月20日には、第4子が誕生した世垣伸次さん・優さん夫妻（黒坂）宅を景山町長が訪問し、同パッケージを手渡しました。世垣さん夫妻は「妊娠期や産前に保健師が親身に相談に乗ってくれとても心強かったです。今後



PROFILE

世垣さんファミリー

世垣 伸次さん
優さん
桜ちゃん
力ちゃん
葵ちゃん
郁ちゃん

「元気に育ってほしい」。そんな願いをかなえる場所がここにある。

妊娠期から子育て期まで親子の成長を支援

町では、妊娠期から子育て期に

ろえます。

「ネウボラ」とは、フィンランドで普及している子育て支援制度。仕事や家族の形が多様化する中で、町でも「切れ目のない子育て支援」を目指し、産前・産後の支援体制の充実を通じ、家族が安心して子育てできる環境づくりを行っています。あなたもぜひ、日野町へ「子育て移住」してみませんか。



今年一年の幸せを祈って

金持神社常夜祭と初もうで

新年が明け、金持神社へ初もうでに訪れた参拝者を迎えようと、12月31日（大みそか）の午後10時から町観光協会（小谷澄男会長）が常夜祭を行い、町内をはじめ県内外から多くの参拝者が訪れました。

常夜祭では、札所（売店）開所や金持神社参道周辺に20基の石灯籠が点灯され、参拝者を温かく出迎えていました。

同神社の境内では、1月1日午前0時ごろから、多くの参拝者が列をつくり、家族の無病息災から金運・開運成就まで、さまざまな願いを込めていました。

また、午前9時ごろからは、同

神社境内で金持青年会による獅子舞が披露され、写真愛好家らは夢中でシャッターを切り、参拝者は笛や太鼓の音に合わせて勇壮に舞う獅子舞に見入っていました。

今年は、天候に恵まれ、元旦から1月3日にかけて、昨年と同様、多くの参拝者が訪れました。参拝者がにぎわう中、札所（売店）横では、奥日野きのこのコンフィバーガーや甘酒などが販売されたほか、札所でも、スタッフらが「良い年になりますように」「気を付けて帰ってください」など、一人一人に温かく声を掛ける様子がみられました。



▲縁起の良い名にあやかり、金運・開運を願う姿も

たたら製鉄の知識を問う

奥日野たたら学検定試験

かつての奥日野地域の一大産業であった「たたら製鉄」についての知識を問う「奥日野たたら学検定試験」が、12月11日、山村開発センターで行われました。これは、日野郡内で

たたら製鉄の顕彰・調査活動などを行っていた伯耆国たたら顕彰会（田貝英雄会長）と日野軍★みらい創生デザイン会議（田貝英雄代表）が企画したもので、当日は町内外から33人が



▲40分間で50の設問に挑戦

受験しました。試験は、選択式の50問のうち、40問以上正解すると合格するというもの。試験前にはたたら顕彰会による事前セミナーもあり、参加者は基礎知識について学んだ後に試験に臨みました。

結果、27人が見事合格し、認定証と記念品の缶バッジが贈られました。

今回行われたのは初級試験。たたら顕彰会では、今後、中級以上の試験や他市町村での開催など、継続して検定試験を行う予定とのこと。皆さんもぜひ挑戦してみてください。



▲合格者には認定証が贈られる